

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5 年 12 月 20 日

事業所名 こぼんはうすさくら 厚木恩名教室

保護者等数(児童数) 24名 回収数 22枚 割合 96 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17		1	4		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1		1		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	1		5	バリアフリー化が見えにくい。	トイレに手すり有り。 玄関のスロープを確保する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	17			5		
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	22					
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21			1		支援計画に記載されているため、 スタッフにお尋ね下さい。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21	1				
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20			2		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	5	10		
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21			1	丁寧に説明されています。	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21			1		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	15	2	1	4		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	1				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22					
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	3	5	9		
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	21			1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20	1		1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	21			1		
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	22						
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	13	2		7		避難訓練の頻度を上げる。 定期的に行う。 実施の旨をブログや新聞でお知らせする。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7			15		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17	4	1		早起きも身支度も上手に出来るくらい 楽しみにしています。	
	23	事業所の支援に満足しているか	20	2			行事も集中してやり遂げることが出来、 幼稚園での生活態度も良くなってきていると 思います。	

404 21 13 68

80%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 12 月 20 日

事業所名 こばんはうすくら 厚木恩名教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に合わせて場所を変え、行っています。	
	2 職員の配置数は適切であるか		○		子どもの人数に応じて変えています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	玄関・トイレなど全ての全ての場所に手すりがない為、椅子を用意して対応しています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		体操やサーキットなど場所を変えて行うこともあります。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的な会議を行い、全職員で共有しています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケートを受け、改善点について話し合いの場を設けています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開をしています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	実施していません。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		代表が参加をしています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者と面談や聞き取りを行い、作成をしています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	決まったものではありませんが、その子どもに合わせた課題等を用意して取り組んでいます。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			家族支援を実施しています。面談の場を設け、話を聞いている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		プログラムを毎月決めて支援をしています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		代表が考え、曜日によっては全員で考えて決めています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		週や日によってプログラムを変えています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		曜日やメンバーに応じて変更し、取り組んでいます。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼や話し合いの時間を設けています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		次の日の朝礼や日報などで必ず共有するように心がけています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳や日報に記録して改善に繋げています。	
関係機関や保護	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に1回聞き取りをし、必要に応じて面談を実施しています。	
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管が代表として参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		他事業所、相談支援事業所、幼稚園、学校と連携はしています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	対象児童がいません。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	対象児童がいません。	
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		連絡を取るケースもあります。		

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		連絡を取るケースもあります。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修がある場合には参加をしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	機会がなく行えていません。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	機会があれば参加をしています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時(LINE等でも)にその日の様子を保護者にお伝えしています	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		アドバイス等をすることはありますが、トレーニングは行っていません。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にお伝えしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		作成を終えたら毎度読み合わせを行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があった場合には応じています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者会については環境が整い次第、開催します。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		申し出があった場合には迅速に対応し、職員間でも共有をしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		新聞やおたより、ブログなどで発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		ブログ内の顔の公開や書類、保管、情報については注意しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもにあわせてベクス、マカトンを取り入れています。LINEを繰り返し行う等もあります。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	未実施です。	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		定期的に確認をし、お知らせ等で周知しています。	
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	不定期ですが、訓練は行っております。		
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		通院した際には、連絡を頂くように声を掛けています。		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者の方から聞き、対応しています。		
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		合わせてアクシデント報告も行い共有し、次に繋がらないよう努めています。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		研修機会を設け、開催予定です。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	保護者(該当の)には了解を得て記載しています。		